

議事要旨

日時：2016年2月4日（木）16：00～17：00		
件名：日越大学構想推進に関する有識者会議（第1回総会）		
所属	役職	氏名
内閣官房	副長官	世耕 弘成
	内閣総理大臣補佐官	和泉 洋人
一般財団法人東亜総研	代表理事	武部 勤
東京急行電鉄株式会社	取締役相談役、東急グループ 最高顧問	越村 敏昭
一般社団法人日本ベトナム経済フォーラム	代表理事	吉田 允昭
	専務理事	藤岡 文七
元衆議院議員 一般財団法人東亜総研	常任理事	近藤 三津枝
昭和電工株式会社	常務執行役員	天野 賢
住友商事株式会社	常務執行役員	田淵 正朗
一般社団法人日本経済団体連合会	専務理事	椋田 哲史
伊藤忠商事株式会社	顧問	小林 洋一
川崎重工業株式会社	常務執行役員	衣斐 正宏
本田技研工業株式会社	二輪事業本部営業部営業課長	藤崎 隆志
東京大学	名誉教授	古田 元夫
筑波大学	学長	永田 恭介
早稲田大学	学長代理	内田 勝一
立命館大学	理事補佐	モンテ カセム
独立行政法人国際協力機構	理事	入柿 秀俊
EY 新日本サステナビリティ株式会社	マネージャー	神崎 裕之
場所：官邸2階小ホール		

1. 世耕内閣官房副長官挨拶

- 本会議では、以下の3点について、各界からの協力のあり方、日越両国政府の果たすべき役割という観点から、具体的かつ忌憚のない議論をいただきたい。
 - ①ベトナムをはじめとしたASEAN諸国における活動を念頭に、日越大学の卒業生として経済界が実際に必要としているのは如何なる人材か。
 - ②そうした人材育成のために如何なる教育プログラムが必要とされ、如何に日越両国の大学等からの持続的な協力を得ていくか。
 - ③持続的な大学運営にあたっての留意点は何か。

2. 武部日越友好議連特別顧問挨拶

- ✓ 本構想は日越両国の議員連盟により日越外交関係 40 周年の記念事業として提案された経緯がある。本構想をしっかりと持続可能なものに作り上げ、即戦力となる人材を確保することと同時に、50 年・100 年後の日越関係、アジアの安定と繁栄、世界平和に寄与するという大局に立った、アジアならではの名門大学をつくるべく取り纏めて頂ければ有難い。

3. 日越大学プレフィジビリティ調査経過報告

- 調査の進捗報告があり、今後、中間報告会や最終報告会の機会を通じて関係者の意見を反映しつつまとめていくとの方向性が説明された。

4. 座長等の選出

- 以下の点について承認された。
 - ✓ 推進会議の下に、次期フェーズ分科会と大学院分科会の 2 つの分科会を開催する。推進会議のメンバーは各分科会に参加し、より具体的に議論を行う。
 - ✓ 推進会議の座長及び代理、2 つの分科会長を選出する。座長は推進会議構成員の互選により選出し、座長代理及び 2 つの分科会長は座長から推薦・指名する。
- 東京急行電鉄株式会社取締役相談役、東急グループ最高顧問の越村敏昭氏が座長として選出された。
- 古田東大名誉教授が座長代理及び両分科会会長として選出された。

5. 座長及び各構成員による発言

- 越村座長より、概要以下の発言があった。
 - ✓ 副長官から 3 点のポイントについて議論の提案をいただいたが、この有識者会議を通じ、具体的提言を行っていかねばならない。皆様方には、関係する機関・団体の中で議論をいただき、今後の分科会、総会においてご発言いただくことをお願いしたい。
- 古田座長代理より、概要以下の発言があった。
 - ✓ 混沌とした 21 世紀の世界で発展していくためには幅広い視野が必要となる。日本の大学が培ってきた経験を取り入れることによって、ベトナムが中進国の罫にかからないための高度人材養成に貢献できるようにしていきたい。
- 他の構成員より、自己紹介を兼ねて発言があった。

6. 今後の予定など

- 次回推進会議は 6 月～7 月頃に開催の予定。それまでの間に大学院分科会及び次期フェーズ分科会を開催し、副長官から提案された 3 点について議論する予定。
- 両分科会メンバーについて、全会一致で承認された。

以上